

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 室房ブロックを伴い持続する発作性上室頻拍の頻拍回路の診断と診断方法の探索的観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科（研究責任者） 永嶋 孝一
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2022年12月31日
＜研究の目的と意義＞ 室房ブロックを伴い持続する発作性上室頻拍では、上部共通路を伴った房室結節リエントリー性頻拍と、房室結節-心室間の特殊な副伝導路を介した上室頻拍の 2 つを鑑別することが、治療するにあたって非常に重要です。ただこれらの頻拍は稀有であり、実際の有病率も不明なばかりか、診断方法もあまり確立されていません。今回、これらの頻拍の有病率の把握と、診断基準の確立をすべく、多施設で患者さんのデータを集め、有病率の把握と診断基準の確立を目指します。
＜利用する試料・情報の項目＞ 室房ブロックを伴い持続する発作性上室頻拍に対してカテーテルアブレーションを受けた患者さんの、心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図データを使用します。
＜対象となる患者さん＞ 1990年1月1日～2019年7月31日に鳥取大学医学部附属病院循環器内科で発作性上室頻拍に対するカテーテルアブレーション治療をされた方
＜研究の方法＞ 上記患者さんのカテーテルアブレーション中に、心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図データを使用します。またペーシングによって診断したデータも使用し、診断の確立を目指します。ペーシング手技はいずれも診断に必要であり、どの患者さんにも行っている、安全性が確立された方法です。また得られたデータを後から解析しますので、安全性には問題ありません。この検討により、不整脈回路をより迅速に、正確に診断することが可能となり、治療で難渋することを回避することが目的です。
＜お問い合わせ窓口＞ 鳥取大学医学部附属病院 循環器内科 小倉 一能 〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1 TEL：0859-38-6517（内線：6517）

鳥取大学循環器内科